



# 2024年6月期 決算説明資料

株式会社クオルテック 【証券コード：9165】

## Highlights

# 01

- 通期売上高は、全社で前期比+10.7%増収の3,623百万円となり、過去最高額を更新。
- 信頼性評価事業は、好調な高付加価値分析・解析検査及び断面研磨に加え、上期に端境期を迎えたパワーサイクル試験の受注が回復し、前期比+11.2%増収。
- 微細加工事業は試作品加工における顧客ニーズへの対応力を強化したことや、信頼性評価事業部門とのコラボレーション案件の受注が伸びたことで、前期比+13.3%増収。
- その他事業はバイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業の参入による価格競争激化の影響により、前期比△2.5%減収。

# 02

- 通期段階利益の前期比は、信頼性評価事業の増収効果により、体制強化等による販売管理費増等を挽回し、営業利益は+25.3%増益の381百万円。
- 経常利益は上場関連費用14百万円を計上するも、+24.1%増益の366百万円。
- 当期純利益は+28.5%増益の270百万円。

# 03

- 通期業績予想は増収増益。
- 売上高は信頼性評価事業、微細加工事業を中心に拡売を進め、全体で前期比+10.4%増収。
- 営業利益はパワエレクトロニクスセンター建設、半導体研究開発拠点等を中心とした積極投資(13億円)により、前期比+1.0%増益。
- 配当については、事業成長に向けた投資余力の確保と安定的な株主還元の両立を基本に、一株当たり37円を見込む。

## 目次

- 1 | 決算概要（前期比）
- 2 | 決算概要（修正比）
- 3 | 四半期売上高推移
- 4 | その他経営数値
- 5 | 成長戦略に向けた取組み
- 6 | 2025年6月期 業績予想
- 7 | 配当予想
- 8 | 附録（注意事項）

## 1. 決算概要(前期比)

前期から増収増益。売上高は+10.7%増収。営業利益は、増収効果による売上総利益+235百万円により、体制強化等による販売管理費増を挽回し+25.3%増益。営業外費用として上場関連費用14百万円を計上するも、営業利益増により、経常利益は+24.1%増益。当期純利益は+28.5%増益となる。

【単位:百万円、%】( )内は売上高比

	23年6月期 実績		24年6月期 実績		前期差	前期比
売上高	3,274		3,623		+349	+10.7%
営業利益	304	(9.3%)	381	(10.5%)	+76	+25.3%
経常利益	295	(9.0%)	366	(10.1%)	+71	+24.1%
当期 純利益	210	(6.4%)	270	(7.5%)	+59	+28.5%

# 1. 決算概要 セグメント別売上高(前期比)

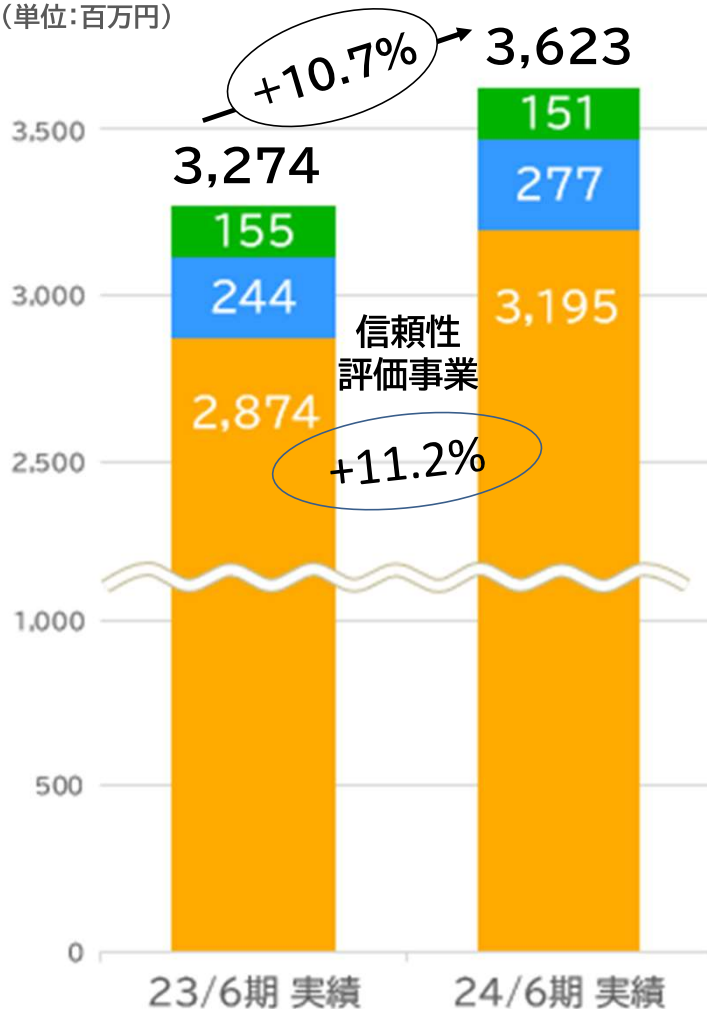
全社売上高は、前期比+10.7%の増収。

信頼性評価事業は、好調な高付加価値分析・解析試験、断面研磨に加え、上期に端境期を迎えたパワーサイクル試験の受注が回復し、全体で+11.2%増収。

微細加工事業は、試作品加工における顧客ニーズへの対応力を強化したことや、信頼性評価事業部門とのコラボレーション案件の受注が伸びたことで、前期比+13.3%増収。

その他事業は、バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業参入による価格競争激化で、△2.5%減収。

(単位:百万円)



セグメント	増減率	コメント
信頼性評価	+11.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 信頼性試験: +17.2%増収。</li> <li>■ 断面研磨: +7.8%増収。</li> <li>■ パワーサイクル試験: +2.5%増収。</li> </ul>
微細加工	+13.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 試作品加工における顧客ニーズへの対応力を強化したことや、信頼性評価事業部門とのコラボレーション案件の受注が伸びたことで増収。</li> </ul>
その他	△2.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業参入による価格競争激化で減収。</li> </ul>

# 1. 決算概要 営業利益増減内容(前期比)

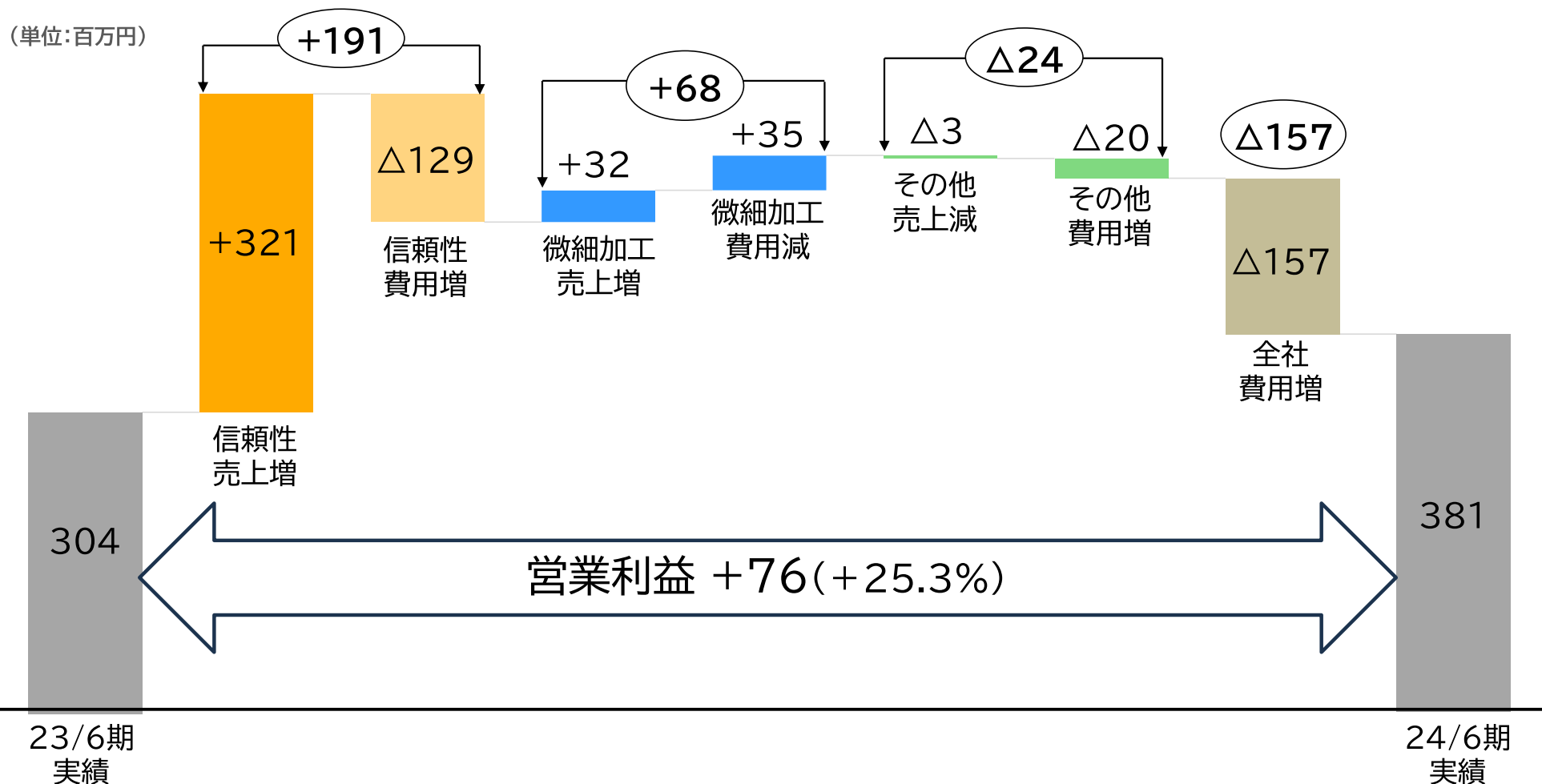
全社営業利益は、前期比+76百万円(+25.3%)増益。

信頼性評価事業は、増収効果により増販体制強化に向けた人件費、設備償却費増等あるも+191百万円増益。

微細加工事業は、増収に加え設備償却費減少や費用削減により+68百万円増益。

その他事業は、バイオ、表面処理体制強化による費用増を実施したが、バイオ減収により△24百万円減益。

全社共通部門は、体制強化等による費用増で△157百万円減益。





## 2. 決算概要(修正比)

2024年2月に開示した修正業績予想から増収増益。売上高は+0.7%増収。  
各段階利益は売上高の増収効果により、営業利益+5.8%増益、経常利益+6.5%増益、当期純利益+11.1%増益となる。

【単位:百万円、%】( )内は売上高比

	24年6月期 業績予想 23/8/10発表		24年6月期 修正業績予想 24/2/7発表		24年6月期 業績実績		修正比 (24/2/7 発表比)	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	増減	増減率
売上高	3,999		3,600		3,623		+23	+0.7%
営業利益	619	(15.5%)	360	(10.0%)	381	(10.5%)	+20	+5.8%
経常利益	576	(14.4%)	344	(9.6%)	366	(10.1%)	+22	+6.5%
当期 純利益	414	(10.4%)	243	(6.8%)	270	(7.5%)	+27	+11.1%

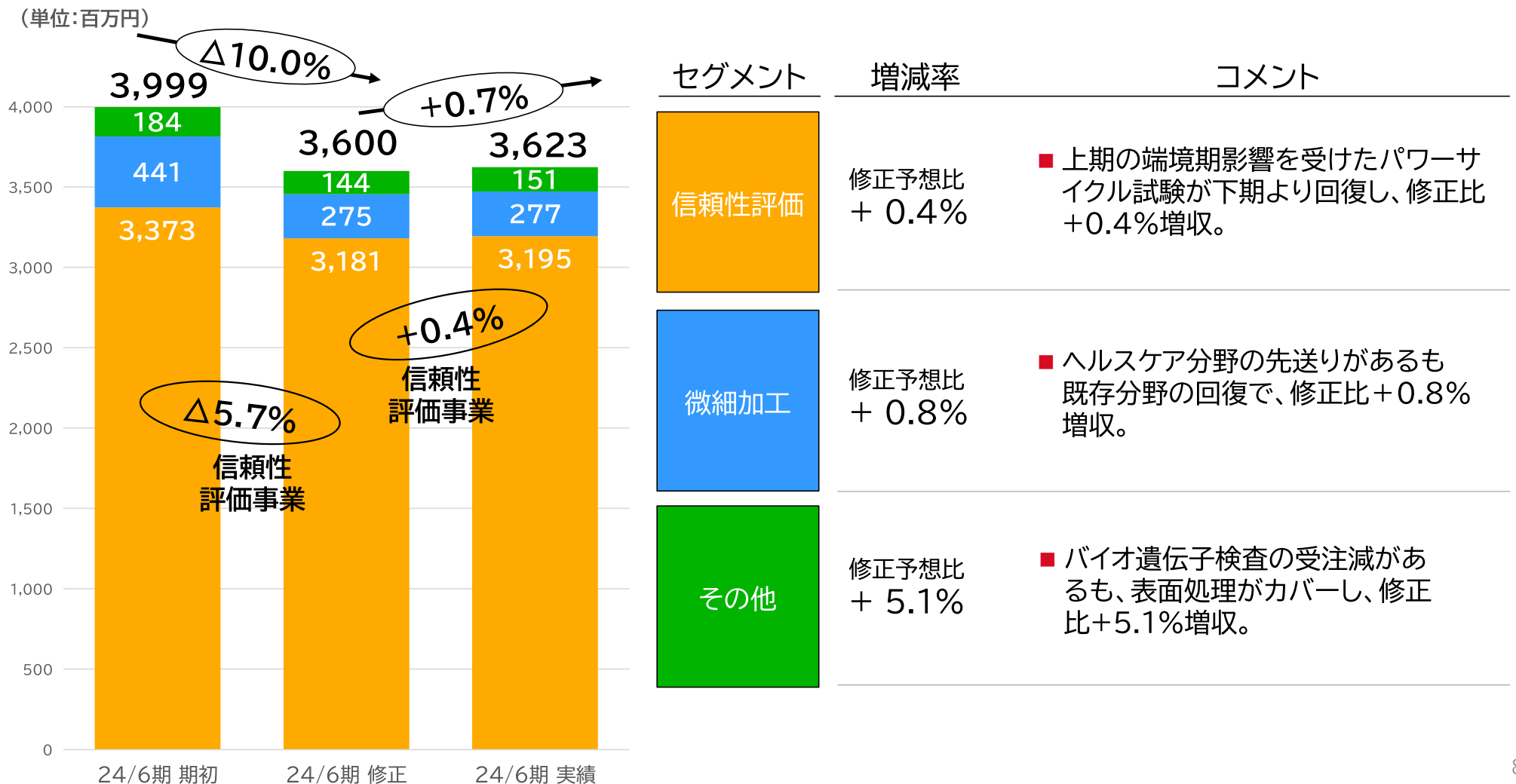
## 2. 決算概要 セグメント別売上高(修正比)

全社売上高は、期初の目標に対して△9.4%減収も、修正比+0.7%増収。

信頼性評価事業は、上期の端境期影響を受けたパワーサイクル試験が下期より回復し、修正比+0.4%増収。

微細加工事業は、ヘルスケア分野の先送りがあるも既存分野の回復で、修正比+0.8%増収。

その他事業は、バイオ遺伝子検査の受注減があるも、表面処理がカバーし、修正比+5.1%増収。





## 2. 決算概要 営業利益増減内容(修正比)

全社営業利益は、期初の目標に対して△238百万円となるも、修正比+20百万円(+5.8%)増益。

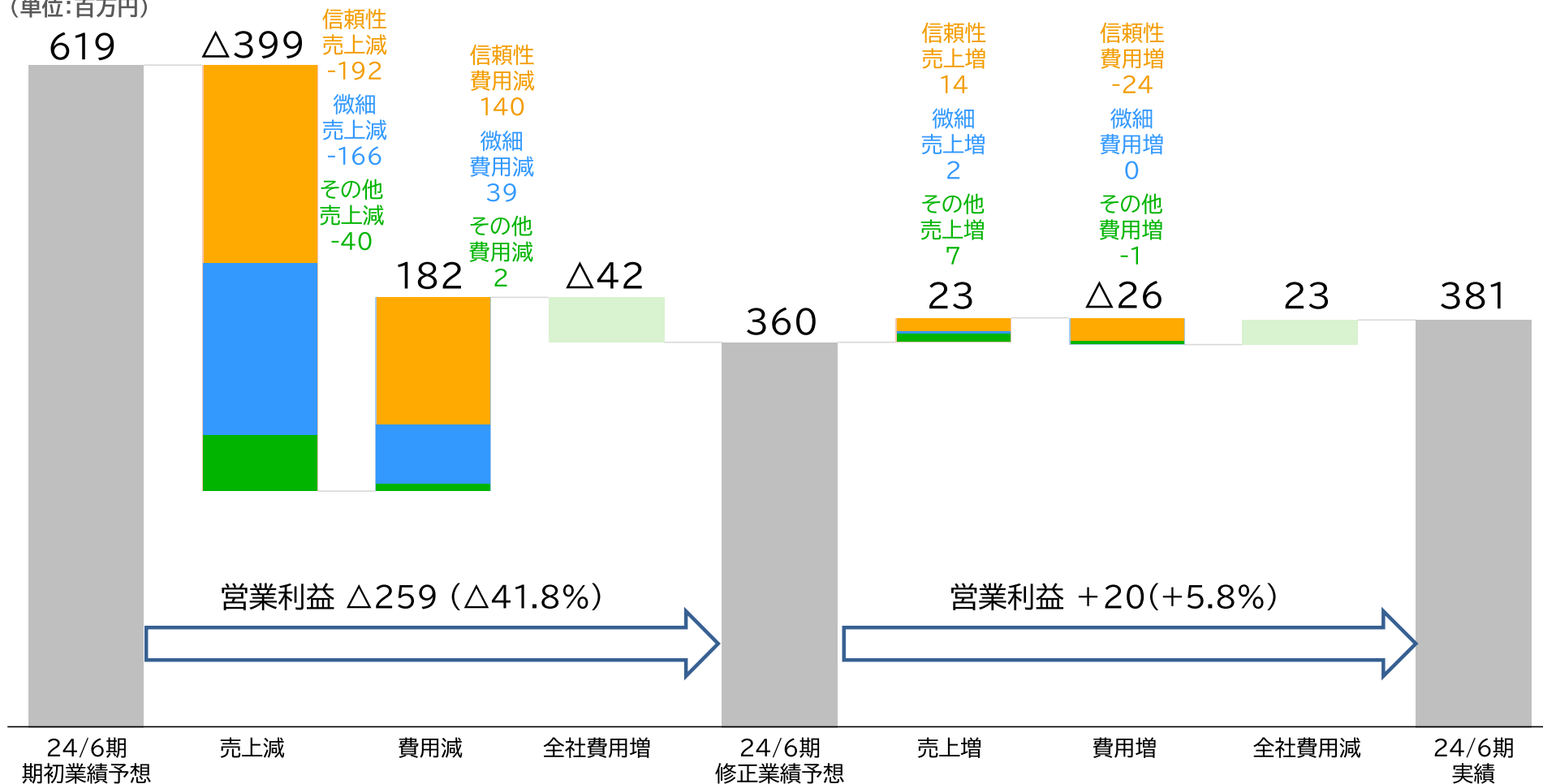
信頼性評価事業は、増収となるもパワエレクトロニクスセンター設立関連費用の発生で修正比△10百万円減益。

微細加工事業は、増収により+2百万円増益。

その他事業は、表面処理増収により+5百万円増益。

全社共通部門は、費用削減により+23百万円増益。

(単位:百万円)

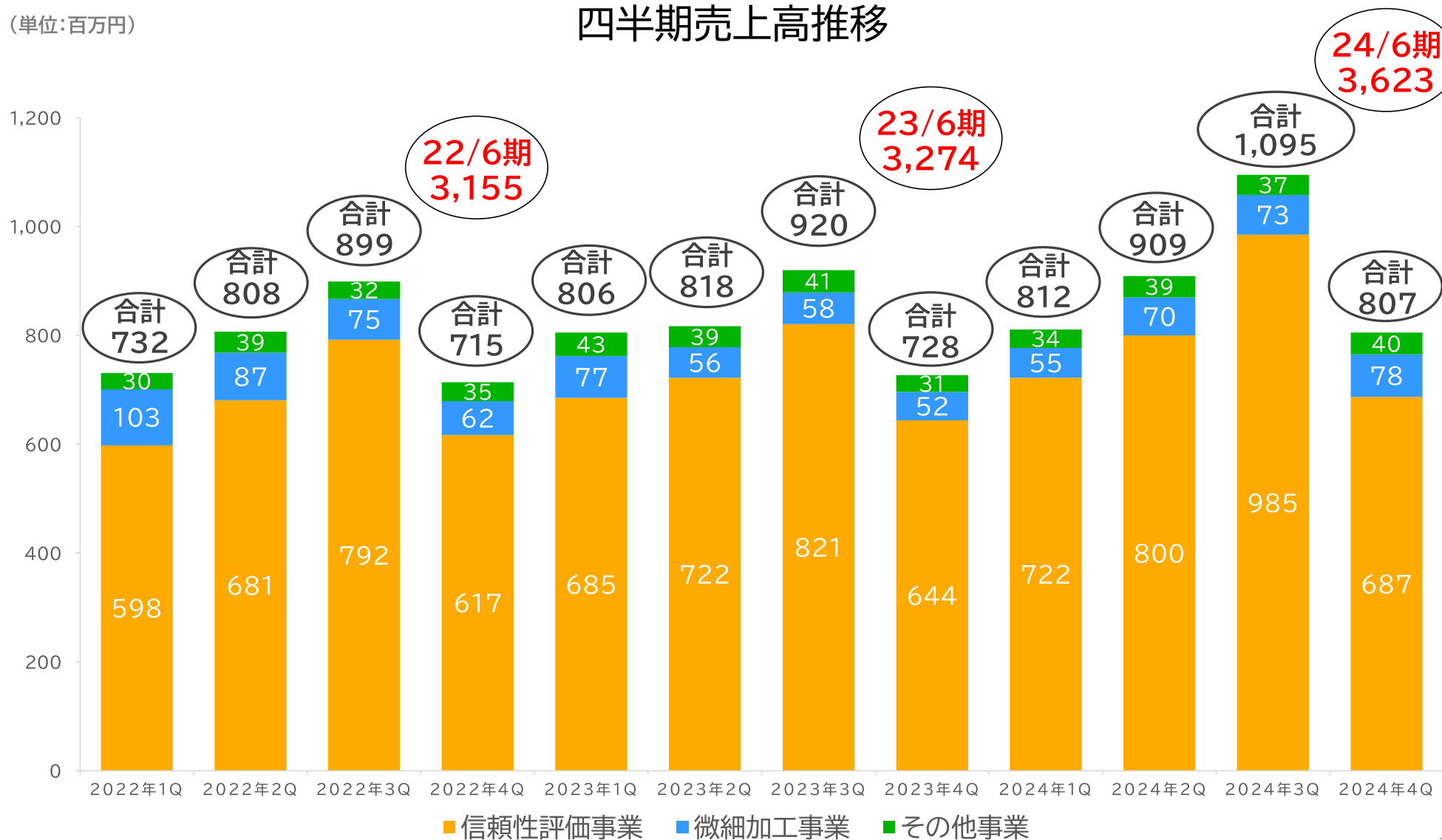


### 3. 四半期売上高推移(セグメント別)

24年6月期は過去最高額を更新し、各四半期で前年からの成長を果たすも、例年の傾向は変わらず、第4四半期が閑散期となる。

(単位:百万円)

#### 四半期売上高推移



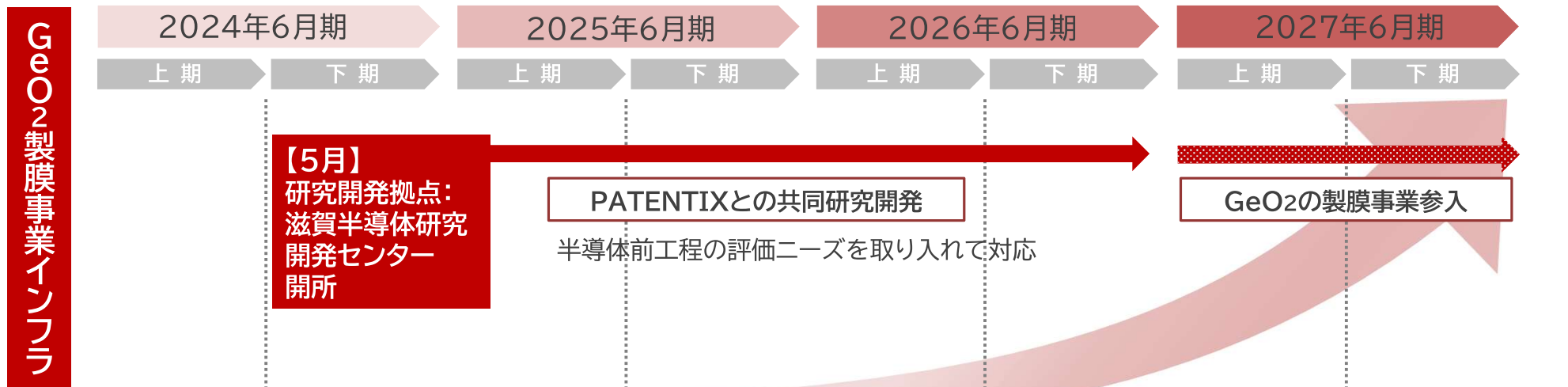
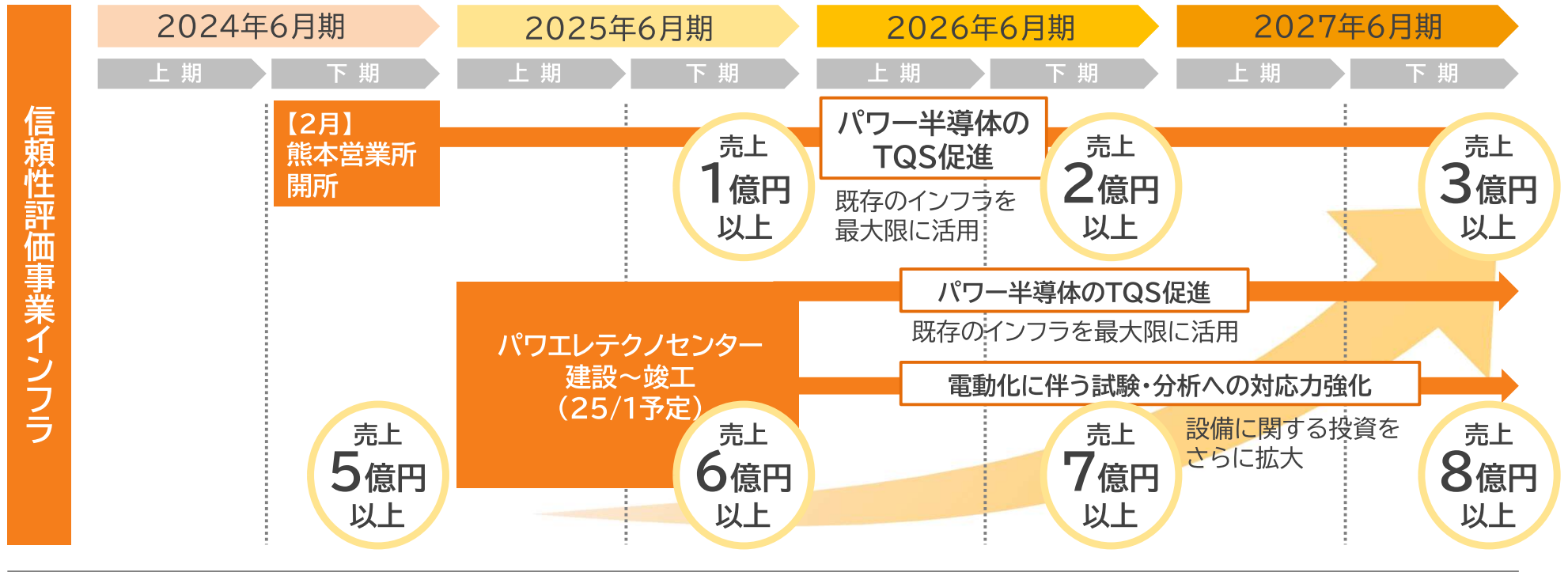
## 4. その他経営数値

その他経営数値の状況は以下のとおり。

【単位:百万円、%】 ( )内は売上高比

	23年6月期		24年6月期		前期差
総資産	3,177		4,140		+962
純資産	2,380		3,155		+775
自己資本比率	74.9%		76.2%		+1.3p
現預金残高	1,263		1,902		+639
設備投資	275		398		+122
研究開発費	83	(2.6%)	87	(2.4%)	+4
在籍人員(人) ※派遣社員を除く	222		242		+20

## 5. 成長戦略に向けた取組み



## 5. 成長戦略に向けた2024年6月期～2025年6月期の取組み①

2027年売上50億円達成に向け、企業の成長と持続可能性を支えるべく各施策を実施します

(1)体制面	2024/6期	2025/6期
<div data-bbox="215 363 510 512" style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; text-align: center;"> <b>営業体制の強化</b> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本営業所の開設</li> <li>・商社、代理店との連携</li> <li>・新年度の営業本部新設を決定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 新年度の営業本部内にマーケティング部新設と営業人員増強を決定し、「お客様のお困りごと」への対応力を強化</li> <li>➢ 販売パートナーとの連携で九州地区、大手自動車メーカーとの取引増加</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地区での販路拡大</li> <li>・新規顧客の開拓</li> <li>・半導体、電子機器以外の分野開拓                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 外注市場の大きい自動車、産業機器の分析信頼性事業でのシェア拡大</li> <li>➢ 営業所を開設した九州地方の半導体業界、東海地方の自動車業界に人材を投入し、新規先を含めた拡販を実現</li> <li>➢ 事業部門と協働しガラス基板やその他素材の微細加工での案件開拓</li> </ul> </li> </ul>
<div data-bbox="215 743 510 892" style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; text-align: center;"> <b>事業部門の再編</b> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度からの組織強化を決定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事業軸の強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の拠点(本社、名古屋、東京)軸に加え、センター機能軸運営を強化し、人材・技術交流による活性化、繁忙期の受注体制等、「お客様のお困りごと」への対応能力向上を実現</li> </ul> </li> <li>➢ 微細加工部門の再編成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基板評価事業の強化を目的としてレーザー加工部と表面処理技術課を一括りとし、(新)微細加工センターを編成。表面処理技術課のセグメントを「その他事業」から「微細加工事業」へ変更</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TQSの進化加速(全体最適化への移行)</li> <li>・顧客ニーズに応じた設備増強</li> <li>・営業部門との連携強化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 信頼性事業部門                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・X線設備群活用での微細半導体から大型車載部品への対応</li> <li>・衝撃試験槽の増設、トライボギア・サーボパルサーの立上げによる拡販、外注環境試験の内製化</li> <li>・電子機器評価試験における付加価値分野の取組み強化、マイグレーション試験の受注拡大</li> <li>・パワーサイクル試験におけるIOL試験機の拡販活動</li> </ul> </li> <li>➢ 微細加工部門                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス基板・小径ビアなど先端技術の向上、新規設備導入による新たなソリューション提供</li> <li>・表面処理における素材メーカーをターゲットとした拡販活動</li> </ul> </li> <li>➢ その他部門                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオ医薬品の製造部材信頼性評価サービスを開始</li> </ul> </li> <li>➢ 管理部門                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業部門を確りと支えるべく育成、採用、設備、インフラ、セキュリティ、職場環境等の改善に注力</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>



## 5. 成長戦略に向けた2024年6月期～2025年6月期の取組み②

(2)戦略的投資面	2024/6期	2025/6期
<p><b>パワエレテクノセンター</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設用地の確保</li> <li>・設備計画の策定</li> <li>➢ 現在3か所(堺市堺区三宝町・同堺区鉄砲町・同西区築港新町)に分散しているパワー半導体評価拠点を集約</li> <li>➢ 効率化を図ると同時に、パワー半導体評価の更なる需要拡大に対応するため、現行設備台数の1.5倍に向け、段階的に増設予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワエレテクノセンターの稼働開始(25年1月)</li> <li>・検査設備の増強</li> <li>・他センターによる跡地活用</li> <li>➢ 人材と設備の集約効果で、試験機作成時間の短縮を実現</li> <li>➢ 建屋スペース拡大効果を生かした設備の増強</li> <li>➢ パワエレ評価部門移転後の空きスペースを他センターで活用し、新規設備投資による受注体制を強化</li> </ul>
<p><b>次世代半導体事業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PATENTIX社との資本提携</li> <li>・滋賀半導体研究開発センター開所</li> <li>➢ 23年11月立命館大学発のベンチャー企業「PATENTIX」と資本業務提携し、新規次世代パワー半導体GeO<sub>2</sub>の製膜事業へ本格参入</li> <li>➢ 研究拠点として24年5月に滋賀半導体研究開発センターを開所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PATENTIX社との共同研究の開始</li> <li>・新規大型設備の導入</li> <li>・人員の増強</li> <li>➢ PATENTIX社との共同研究の加速、27年以降を想定した量産ニーズへ対応すべく進捗</li> <li>➢ 共同研究にあたっては既存及び新規顧客からの半導体前工程の評価ニーズも捕捉しつつ開発を継続</li> <li>➢ 共同研究の進捗にあわせて量産化に向けた設備投資を実施</li> </ul>

### (3)その他

- 名古屋品質技術センター/研磨センターの増床  
対応能力向上を目的として、作業スペースを拡張
- 人材育成及び採用の強化  
新年度に向けて事業部門、営業、管理部門等でも採用を活発化。一方教育面では現場でのOJT、資格取得支援に加え階層別研修、コンプライアンス教育等の充実で「お客様のお困りごと」にお応えする体制を整備



<パワエレテクノセンター>  
住所:堺市西区津久野町1丁7番25号  
延床面積:合計1,573.48㎡(約475.98坪)



<滋賀半導体研究開発センター>  
住所:滋賀県草津市野路東7丁目3-46

## 6. 2025年6月期業績予想

業績予想は増収増益。売上高は信頼性評価事業、微細加工事業を中心に拡売を進め、全体で前期比+10.4%増収。営業利益はパワエレクトロニクスセンター建設、半導体研究開発拠点等を中心とした積極投資(13億円)により、前期比+1.0%増益。

【単位:百万円、%】 ( )内は売上高比

	23年6月期 実績		24年6月期 実績		25年6月期 予想		24/6期 実績 vs 25/6期 予想	
売上高	3,274		3,623		4,000		+376	+10.4%
営業利益	304	(9.3%)	381	(10.5%)	385	(9.6%)	+3	+1.0%
EBITDA	625	(19.1%)	699	(19.3%)	791	(19.8%)	+92	+13.2%
経常利益	295	(9.0%)	366	(10.1%)	370	(9.2%)	+3	+0.9%
当期 純利益	210	(6.4%)	270	(7.5%)	280	(7.0%)	+9	+3.7%

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費としております。



## 6. 2025年6月期業績予想 セグメント別売上高(前期比)

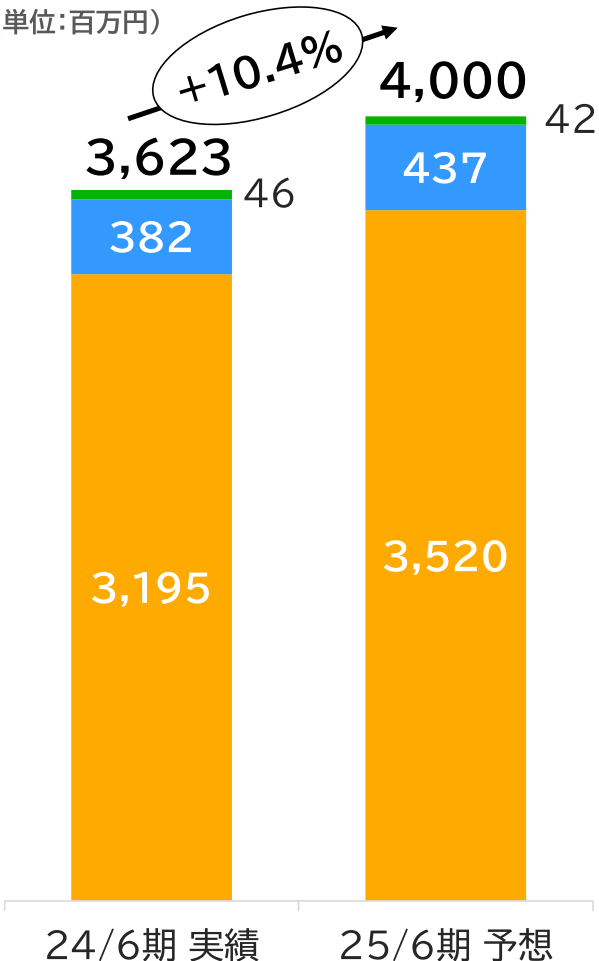
全社売上高は、前期比+10.4%増収。

信頼性評価事業は、パワーサイクル試験を中心とした成長を図り、全体で+10.2%増収。

微細加工事業は、既存事業の拡売に加え、ガラス基板など新しい素材加工を可能とする新規設備の導入により、新たな需要獲得を見込み、前期比+14.3%増収。

その他事業は、受託事業を加速するも、バイオ遺伝子検査需要の低迷が続くと予想され、前期比△8.7%減収。

(単位:百万円)



セグメント	増減率	コメント
信頼性評価	+10.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 信頼性試験: +10.1%増収。</li> <li>■ 断面研磨: +4.0%増収。</li> <li>■ パワーサイクル試験: +21.3%増収。</li> </ul>
微細加工	+14.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存事業の拡売に加え、ガラス基板など新しい素材加工を可能とする新規設備の導入により、新たな需要獲得を見込む。</li> </ul>
その他	△8.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受託事業を加速するも、バイオ遺伝子検査需要の低迷が続くと予想。</li> </ul>

※ 25/6期より、その他事業の表面処理部門は微細加工事業へセグメント変更しております。

## 6. 2025年6月期業績予想 営業利益増減内容(前期比)

全社営業利益は、前期比+3百万円(+1.0%)の増益。

信頼性評価事業は、増収効果により増販体制強化に向けた人件費、設備償却費増等あるも+203百万円増益。

(うち、パワエレクトロセンター関連費用の影響は△82百万円)

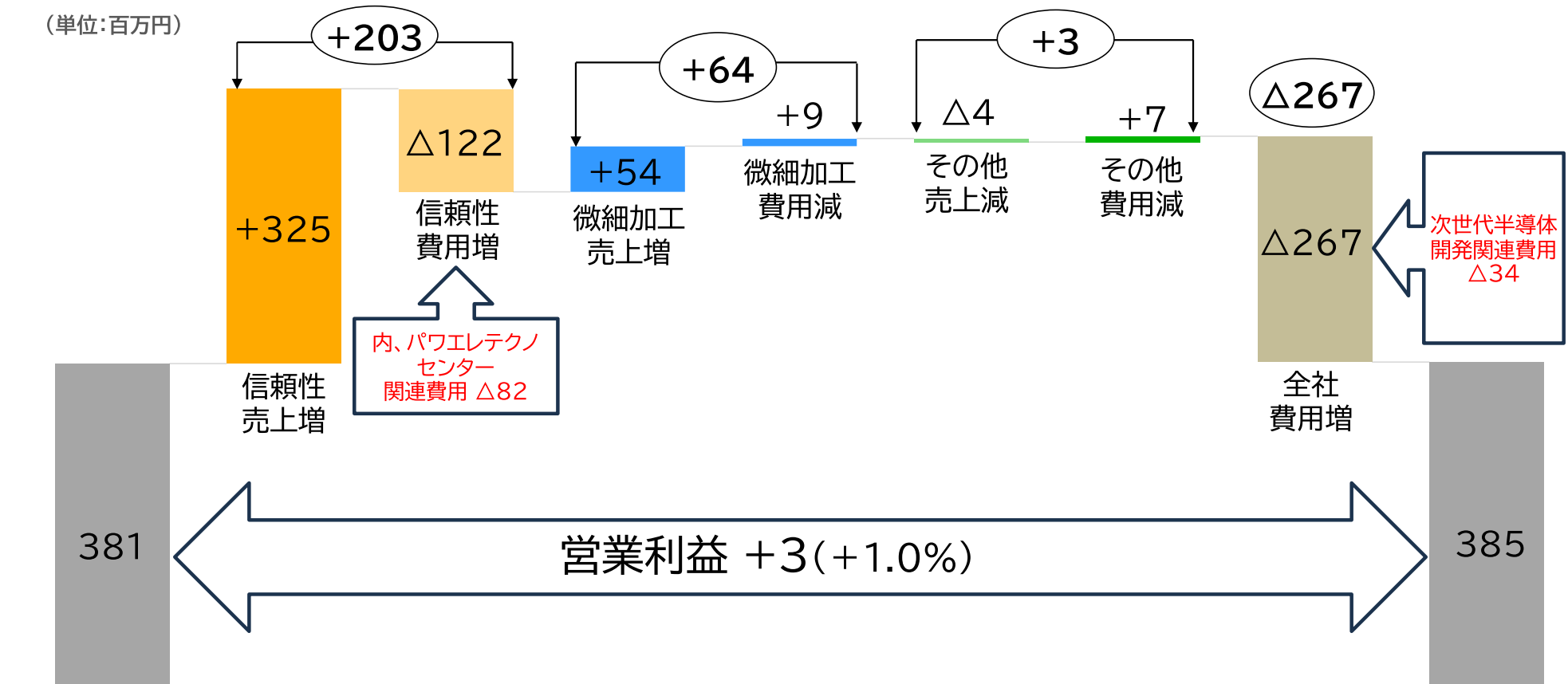
微細加工事業は、増収に加え設備償却費減少や費用削減により+64百万円増益。

その他事業は、売上減に伴う費用抑制で+3百万円増益。

全社共通部門は、次世代半導体開発体制強化等による費用増で△267百万円減益。

(うち、次世代半導体開発関連費用の影響は△34百万円)

(単位:百万円)



※ 25/6期より、その他事業の表面処理部門は微細加工事業へセグメント変更しております。

24/6期  
実績

25/6期  
予想

## 7. 配当予想

事業成長に向けた投資余力の確保と安定的な株主還元の両立を基本ポリシーとして継続。  
25年6月期の配当予想については、一株当たり37円を見込む。

	23年6月期	24年6月期	25年6月期 予想	24/6期 vs 25/6期
当期純利益	210百万円	270百万円	280百万円	+7百万円
1株当たり配当金	37.00円	42.00円 ※	37.00円	△5.00円
発行済み株式数	2,100,000	2,350,000	2,350,000	—
配当金総額	77,700千円	98,700千円	86,950千円	△11,750千円
配当性向	37.0%	36.5%	31.1%	△5.2p

※普通配当37円00銭、記念配当5円00銭

## 8. 附録(注意事項)

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

assists your "thinking"

Qualtec